岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　災関砂防鯉の浦隣2測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-3	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内			**北緯**	34° 09′ 4.6659″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年 3月 20日 ～ 2019年 3月 25日	**東経**	132° 29′ 51.8577″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 41.27m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	19.00m					**使用機種**	**試錐機** KR-SH / **エンジン** NFAD6 MS172EAM / **ポンプ** 丸山

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 ×(%) 最大コア長 ○ cm RQD —[%]	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 N値 深度－N値 図	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度（cm／b）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
1	40.37	0.90		砂質粘土	暗茶									砂質粘土。GL-0.20～GL-0.60m間は粘土多め。												
2	39.27	2.00		粘土質砂	暗茶									GL-1.50～1.60mは砂質粘土。 GL-2.00mまで礫が多くなり礫混じり砂となる。	03/22 2.20	8 300 1.45 / 16 300 2.45				150						
3																								140		
4	36.77	4.50		花崗岩	黄褐	δ、ε		E	VI	d	DM			砂状コア。原岩組織不明瞭。	03/21 08:00	39 300 3.45 / 45 300 4.45				86／B2						
5																50 270 5.42										
6															03/21 5.90	50 100 6.31			3/20							
7																50 120 7.27				100						
8																50 60 8.14										
9																50 80 9.10										
10					褐	w4		D	V	c	DH			短柱状コアとして採取されるが、指圧にて潜在亀裂が分離または新しい亀裂が生じて、礫状～岩片状となる。 岩片は岩石組織を残すが鉱物間結合力が弱く、場所によって砂～礫状となる。 GL-5.60～5.90mにCL級の岩片を挟む。 GL-7.50～10.00mにかけて、コアの高角度亀裂あり。亀裂周辺は破砕が進みマサ状となる。 GL-9.50～9.80mにやや硬質な花崗岩片が混入。ハンマーピックで金属音を示す。 GL-15.00～15.90mはコアがやや硬質になり、指圧で崩れ難くなる。	03/22 10.20	50 10 10.12										
11																50 10 11.06			3/21							
12																50 80 12.13										
13																50 0 13.05				67				160		
14																50 0 14.00										
15																50 40 15.04			3/22							
16	25.37	15.90										15 [15]								100						
17					灰褐	w3		C	III	c	CL	22 [69]		短柱状コアを主体とする。 亀裂集中部で岩片状を呈する。 潜在亀裂沿いに岩片は褐色化し、亀裂集中部では全体的に褐色を帯びる。 ハンマー打撃で潜在亀裂沿いに分離し岩片状となる。 コア表面は風化がやや進行しざらざらとした触感である。						67						
18												20 [37]														
	22.37	19.00										15 [39]							3/23	100						